

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1011	西洋古典学 <Greek and Latin Classics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
西洋古典学	吉武 純夫(YOSHITAKE Sumio)		前期	木曜：2限
講義題目 Title	ラテン語中級散文講読(A)			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	ラテン語初級を修めていることが必要である。			
授業の目的 Purpose	ローマの歴史と神話を題材にして書かれた、ラテン語の伝統ある購読教科書Elementary Latin Translationを学習する。比較的易しい長文をすばやく読む練習である。併せて、『新ラテン文法』後半も読み進む。 This course is to read <Elementary Latin Translation> by Hillard and Botting, a classic Latin reader compiled with stories from Roman history and mythology, as an exercise of faster reading of rather easy and much Latin. Concurrently this course goes through the latter half of <New Latin Grammar>, succeeding the course of Elementary Latin Grammar.			
授業の内容 授業の方法 Content	講読本については、学生はラテン語のテキストだけを見ながら和訳する。当然ながら、分からないことがあれば質問すること。内容と関連するローマの歴史および神話も考察する。前期と後期で、96話全部を読む。 『新ラテン文法』については、毎回20分程度をかけて1課ずつ進める（4月第1回目は第39課から）。			
教科書 テキスト Textbooks	Hillard & Botting著、Elementary Latin Translation (London)。 松平・国原著、『新ラテン文法』（東洋出版）。			
参考書 References	Pocket Oxford Latin Dictionary (Oxford UP) Lewis著、Elementary Latin Dictionary (Oxford UP) 小林標著、『ラテン語の世界』（中公新書） モンタネッリ著、『ローマの歴史』（中公文庫）			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	講読本については、 まずラテン語を白文でゆっくり読み、大まかな意味を推定すること。 次に、分からない語を辞書で引きながら意味を考えること（よく考えれば必ず読める平易なラテン語なので、理解できるまで努力すること。関連する歴史事項や神話を調べると大いに参考になる）。 授業の前にもう一度テキストを読み返すこと。 『新ラテン文法』については、各課の文法を自習し和訳問題を解き、分からない点をまとめておくこと。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	平常点（3割）と定期試験（7割）。一度読んだ散文を、辞書等の助けなしに読めるかをテストする。			
連絡方法 Contact information	電子メール： archaios@lit.nagoya-u.ac.jp			